



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 サンケン電気株式会社

コード番号 6707

URL <https://www.sanken-ele.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 広

問合せ先責任者 (役職名) IR部長

(氏名) 岩田 卓也 (TEL) 048-472-1111

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日 2023年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|-------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 121,550 | 14.7 | 17,158 | 109.3 | 16,745 | 99.3 | 4,448 | 50.6 |
| 2023年3月期第2四半期 | 105,965 | 22.6 | 8,196 | 27.1 | 8,400 | 37.3 | 2,954 | 50.8 |

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 30,943百万円(31.4%) 2023年3月期第2四半期 23,548百万円(253.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第2四半期 | 184.27 | 178.82 |
| 2023年3月期第2四半期 | 122.41 | 121.04 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 339,359 | 205,192 | 38.2 |
| 2023年3月期 | 301,951 | 173,195 | 36.8 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 129,803百万円 2023年3月期 111,093百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 15.00 | — | 15.00 | 30.00 |
| 2024年3月期 | — | 15.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 241,000 | 6.9 | 29,500 | 12.8 | 28,000 | 2.8 | 9,800 | 2.8 | 405.91 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2024年3月期2Q | 25,098,060株 | 2023年3月期 | 25,098,060株 |
| 2024年3月期2Q | 949,661株 | 2023年3月期 | 955,625株 |
| 2024年3月期2Q | 24,143,241株 | 2023年3月期2Q | 24,140,183株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、中国経済の成長鈍化が鮮明となり、米欧における高インフレと金融引き締めの継続など、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当第2四半期連結累計期間の市況環境につきましては、自動車向け製品が電動化やADAS等、環境及び安全機能の進展により、前年同四半期比27.9%の増となりました。また、産機・民生市場は、前年同四半期比13.3%の増となり、主にFAやクリーンエネルギー向け製品が伸長しました。一方、白物家電向け製品につきましては、中国における不動産販売の停滞や顧客の在庫調整による影響を大きく受け、前年同四半期比9.9%の減となりました。

これらマーケットの状況に加え、為替の円安傾向による影響も含めた連結売上高は1,215億50百万円と、前年同四半期比155億85百万円(14.7%)の増加となりました。損益面につきましては、前年第1四半期に計上した米国子会社における一過性費用の計上がなかったことから、連結営業利益は171億58百万円と、前年同四半期比89億62百万円(109.3%)の増、連結経常利益は167億45百万円と、前年同四半期比83億44百万円(99.3%)の増となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、市況の悪化によるサンケンコアを主体にした白物家電向け製品の生産調整の影響などから、44億48百万円と、前年同四半期比14億93百万円(50.6%)の増となりましたが、期初公表の業績予想を下回る結果となりました。

この様な市況環境の中、当社グループでは、2021年中期経営計画の最終年次となる2024年3月期において、中長期の成長戦略実現のため、その基盤となる先行投資を実行しています。そのひとつが、EVトラクションモータ用パワーモジュールの生産能力拡大であり、本年5月に新設した後工程の生産子会社である新潟サンケン株式会社において量産開始に向けた準備を進めております。

一方、前工程においては、生産能力確保と投資抑制の両立を狙ったファブライツ戦略として、PEファンドとの間で米国子会社Polar Semiconductor, LLCの第三者割当増資を進めており、当期中のクロージングを目指し、正式契約締結に向けた交渉を行っております。また、次期中計である2024年中期経営計画の策定と並行し、サンケンコアの復活にもう一段の高みを目指す成長戦略の構築に向けた活動をスタートしております。

市場別、地域別、製品別の売上高につきましては、以下の通りです。

・市場別売上高

(単位:百万円)

| 市場 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | | 増減 | |
|--------|---|--------|---|--------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 増減比(%) |
| 自動車 | 54,722 | 51.6 | 70,009 | 57.6 | 15,287 | 27.9 |
| 白物家電 | 28,134 | 26.6 | 25,354 | 20.9 | △2,779 | △9.9 |
| 産機、民生他 | 23,109 | 21.8 | 26,186 | 21.5 | 3,076 | 13.3 |
| 合計 | 105,965 | 100.0 | 121,550 | 100.0 | 15,585 | 14.7 |

・地域別売上高

(単位:百万円)

| 地域 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | | 増減 | |
|--------|---|--------|---|--------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 増減比(%) |
| 日本 | 24,476 | 23.1 | 28,002 | 23.0 | 3,525 | 14.4 |
| アジア | 59,139 | 55.8 | 61,682 | 50.8 | 2,542 | 4.2 |
| 北米・中南米 | 11,822 | 11.2 | 16,908 | 13.9 | 5,085 | 43.0 |
| 欧州 | 10,527 | 9.9 | 14,958 | 12.3 | 4,431 | 42.1 |
| 合計 | 105,965 | 100.0 | 121,550 | 100.0 | 15,585 | 14.7 |

・製品別売上高

(単位:百万円)

| 製品 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | | 増減 | |
|----------|---|--------|---|--------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 増減比(%) |
| パワーモジュール | 24,286 | 22.9 | 22,417 | 18.4 | △1,869 | △7.7 |
| パワーデバイス | 45,690 | 43.1 | 50,369 | 41.5 | 4,679 | 10.2 |
| センサー | 35,988 | 34.0 | 48,764 | 40.1 | 12,775 | 35.5 |
| 合計 | 105,965 | 100.0 | 121,550 | 100.0 | 15,585 | 14.7 |

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、3,393億59百万円となり、前連結会計年度末より374億8百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が76億70百万円、棚卸資産が119億94百万円、有形固定資産が171億18百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部は、1,341億67百万円となり、前連結会計年度末より54億11百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が12億77百万円、長期借入金が78億91百万円増加したことなどによるものであります。

純資産の部は、2,051億92百万円となり、前連結会計年度末より319億96百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が139億12百万円、非支配株主持分が132億87百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、711億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ73億11百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、159億7百万円のプラスとなり、前年同四半期連結累計期間に比べ23億1百万円の収入増となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加、及び売上債権の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、157億60百万円のマイナスとなり、前年同四半期連結累計期間に比べ23億87百万円の支出増となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出、及び貸付による支出の発生によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億72百万円のマイナスとなり、前年同四半期連結累計期間に比べ60億39百万円の支出増となりました。これは主に、前年度において社債の発行による収入、及び当年度において長期借入金の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後、経済は世界的な停滞感が強まる中で、米欧を中心に高インフレ状態は継続する見通しであります。また、中国の経済状況が企業活動や個人消費に与える影響も懸念され、半導体・電子部品の在庫調整は当面の間継続するものと想定しております。売上高につきましては、為替影響により増収を見込みますが、市況悪化とコスト高騰が業績の重荷となることが想定されます。こうした想定を踏まえ、2023年5月11日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたします。

2024年3月期通期業績予想

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------|----------------|---------------|---------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) 2023年5月11日公表 | 百万円 240,000 | 百万円 38,000 | 百万円 36,000 | 百万円 14,000 | 円 銭 579.85 |
| 今回修正予想(B) | 241,000 | 29,500 | 28,000 | 9,800 | 405.91 |
| 増減額(B-A) | 1,000 | △8,500 | △8,000 | △4,200 | — |
| 増減率(%) | 0.4% | △22.4% | △22.2% | △30.0% | — |
| (ご参考)前期実績 (2023年3月期) | 225,387 | 26,156 | 27,229 | 9,533 | 394.87 |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 65,435 | 73,105 |
| 受取手形及び売掛金 | 40,027 | 38,011 |
| 商品及び製品 | 17,046 | 18,523 |
| 仕掛品 | 32,480 | 43,188 |
| 原材料及び貯蔵品 | 9,748 | 9,559 |
| その他 | 14,343 | 12,715 |
| 貸倒引当金 | △13 | △13 |
| 流動資産合計 | 179,069 | 195,091 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 27,258 | 28,885 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 39,083 | 50,113 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,379 | 1,397 |
| 土地 | 5,426 | 6,204 |
| リース資産（純額） | 2,674 | 3,511 |
| 建設仮勘定 | 12,710 | 15,539 |
| 有形固定資産合計 | 88,532 | 105,651 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,227 | 994 |
| のれん | 2,909 | 3,171 |
| その他 | 7,105 | 7,837 |
| 無形固定資産合計 | 11,242 | 12,004 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,603 | 3,137 |
| 繰延税金資産 | 7,354 | 10,741 |
| 退職給付に係る資産 | 2,126 | 2,342 |
| その他 | 8,100 | 10,476 |
| 貸倒引当金 | △78 | △83 |
| 投資その他の資産合計 | 23,106 | 26,613 |
| 固定資産合計 | 122,881 | 144,268 |
| 資産合計 | 301,951 | 339,359 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 20,160 | 21,438 |
| 短期借入金 | 12,579 | 13,994 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 18,354 | 11,091 |
| コマーシャル・ペーパー | 10,000 | 10,000 |
| リース債務 | 771 | 983 |
| 未払費用 | 17,652 | 15,783 |
| 未払法人税等 | 1,346 | 850 |
| 業績連動報酬引当金 | 166 | 96 |
| その他 | 2,464 | 5,541 |
| 流動負債合計 | 83,496 | 79,779 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 12,000 | 12,000 |
| 長期借入金 | 26,372 | 34,264 |
| リース債務 | 2,012 | 2,597 |
| 繰延税金負債 | 1,753 | 2,120 |
| 株式報酬引当金 | 99 | 149 |
| 役員退職慰労引当金 | 5 | 5 |
| 退職給付に係る負債 | 2,177 | 2,313 |
| その他 | 838 | 938 |
| 固定負債合計 | 45,259 | 54,388 |
| 負債合計 | 128,755 | 134,167 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 20,896 | 20,896 |
| 資本剰余金 | 65,599 | 65,936 |
| 利益剰余金 | 18,052 | 22,135 |
| 自己株式 | △4,287 | △4,279 |
| 株主資本合計 | 100,261 | 104,689 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 203 | 392 |
| 為替換算調整勘定 | 12,131 | 26,044 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,503 | △1,323 |
| その他の包括利益累計額合計 | 10,832 | 25,113 |
| 非支配株主持分 | 62,101 | 75,389 |
| 純資産合計 | 173,195 | 205,192 |
| 負債純資産合計 | 301,951 | 339,359 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 105,965 | 121,550 |
| 売上原価 | 68,315 | 72,450 |
| 売上総利益 | 37,649 | 49,100 |
| 販売費及び一般管理費 | 29,453 | 31,942 |
| 営業利益 | 8,196 | 17,158 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 107 | 316 |
| 受取配当金 | 14 | 14 |
| 為替差益 | 926 | — |
| 金銭の信託運用益 | — | 422 |
| 雑収入 | 434 | 362 |
| 営業外収益合計 | 1,482 | 1,115 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 400 | 682 |
| 為替差損 | — | 567 |
| 投資有価証券評価損 | 573 | — |
| 雑損失 | 303 | 278 |
| 営業外費用合計 | 1,278 | 1,528 |
| 経常利益 | 8,400 | 16,745 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 54 | 31 |
| 減損損失 | — | 264 |
| 投資有価証券売却損 | — | 440 |
| 和解金 | 170 | — |
| 特別損失合計 | 225 | 737 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,175 | 16,008 |
| 法人税等 | 1,619 | 2,706 |
| 四半期純利益 | 6,556 | 13,301 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 3,601 | 8,852 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,954 | 4,448 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 6,556 | 13,301 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18 | 188 |
| 為替換算調整勘定 | 16,915 | 17,383 |
| 退職給付に係る調整額 | 58 | 69 |
| その他の包括利益合計 | 16,992 | 17,642 |
| 四半期包括利益 | 23,548 | 30,943 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 12,523 | 18,730 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 11,025 | 12,213 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,175 | 16,008 |
| 減価償却費 | 7,563 | 8,845 |
| 減損損失 | — | 264 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 21 | 3 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △234 | △95 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △143 | 22 |
| 事業構造改革引当金の増減額 (△は減少) | △366 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △122 | △331 |
| 株式報酬費用 | 5,675 | 3,092 |
| 支払利息 | 400 | 682 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | 440 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,044 | 4,731 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △5,876 | △8,288 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 757 | △987 |
| その他 | 417 | △2,968 |
| 小計 | 17,313 | 21,419 |
| 利息及び配当金の受取額 | 123 | 337 |
| 利息の支払額 | △373 | △668 |
| 法人税等の支払額 | △3,457 | △5,180 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 13,605 | 15,907 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △10,356 | △17,045 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 23 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △339 | △357 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △15 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 2,349 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △2,644 | — |
| 貸付けによる支出 | △0 | △569 |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | 5 |
| その他 | △32 | △150 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △13,372 | △15,760 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額 (△は減少) | 1,340 | 428 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △266 | △420 |
| 長期借入れによる収入 | 500 | 18,100 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,327 | △17,905 |
| 社債の発行による収入 | 6,944 | — |
| 自己株式の売却による収入 | 42 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △2 | △11 |
| 配当金の支払額 | △363 | △363 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 5,867 | △172 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 6,052 | 7,335 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 12,153 | 7,311 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 57,444 | 63,814 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 69,597 | 71,125 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは半導体デバイス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは半導体デバイス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。